

事務 事業名	コード1	1560	道路新設改良事業	課	建設課					
	コード2			所属班	土木班					
			☒ 主要事業	電話番号	57-1193	内線	7919			
政策 体系	基本方針	1	安全で魅力のあるまちづくり	予算	会計			款	項	目
	施策	2	道路・公共交通網の整備	科目	一般会計			08	02	03
	施策の展開	4	市道の整備	根拠 法令	道路法					
	基本事業	23	市道の新設改良							

1 現状把握(Do)

(1)事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
☑ 単年度繰返 □ 平成 年度～ ☑ 開始年度不詳 □ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述⇒	道路網の構築及び道路の安全性を考慮し、また地元住民からの要望等、緊急性のあるものから事業計画を定め、道路の整備を実施する事業である。 【業務の流れ】 実施計画を作成し工事について地元説明をするとともに、測量等を行なって用地交渉をする。設計書を作成し工事を発注する。工事完成後に検査を行う。

(2)トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)		単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
8款2項3目								
委託料								
工事請負費(道路改良工事、道路舗装工事、道路排水工事)								
公有財産購入費								
補償補填及び賠償金								
② 延べ業務時間の内訳								
(道路新設改良事業工事数÷全体工事数)×人員								
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	145,000	0	0	0		
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	792	0	0		
	一般財源	千円	35,606	178,408	54,183	272,863		
	事業費計(A)	千円	180,606	179,200	54,183	272,863	0	0
人 件 費	正規職員従事人数	人	2.34	1.94	0.73	4.58		
	延べ業務時間	時間	4,713	3,914	1,473	9,232		
	人件費計(B)	千円	17,909	14,873	5,597	35,082	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	198,515	194,073	59,780	307,945	0	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 改良工事 L=1544.0m 4路線 新設工事 L=261.0m 2路線 排水整備工事 L=352.5m 7路線 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 改良工事 L=697.0m 7路線 新設工事 L=950.0m 5路線 排水整備工事 L=3793.0m 25路線	ア 整備延長(単年度)	m	7,074	4,917	2,158	5,440		
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	イ 整備対象路線数	路線	46	34	13	37		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	ウ 用地買収・物件補償数	路線	10	4	2	8		
上位 目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑥ 対象指標名	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
	事業を実施することで、安全で安心して通行できるようになり、救急・防災など地域住民の生活環境が向上する。	ア 整備延長(単年度)	m	7,074	4,917	2,158	5,440		
		イ							
		⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
		ア 整備延長(全体)	m	670,057	674,974	733,806	739,172		
		イ 道路改良率	%	60.6	61.6	67.3	67.8		
		⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	26年度 (計画)
		ア							
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か？どんな経緯で始まったか？	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか？	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
車社会の到来により、狭小な昔ながらの道路では歩行者などの安全な通行や緊急時に支障が生じる。生活の根幹となる道路の拡幅整備により都市基盤整備の推進となる。	道路改良率については、上昇しているが十分なものはいない。	道路改良、舗装新設については、住民から早期事業に着手してほしいと要望が多くあがっている。

事務事業名	道路新設改良事業	課名	建設課	班名	土木班
-------	----------	----	-----	----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 本事業は、市の基本方針「安全で魅力のあるまちづくり」に結びついており、上位目的にも強く結びついている。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 道路の安全性向上を図るための整備計画に基づく対象であり適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 生活の基盤である市道を整備することは、市の責任である。
有効性 評価	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 予算内で道路整備計画を実施しており、改良率は上昇している。近隣市と比較しても同等である。
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	☐ 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 ☒ 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 ☐ 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 住民からの要望は増えているが、工事の必要性、優先順位を精査することで成果は向上する。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他（民間・国県を含む）に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：() (2) ☐ 統廃合ができる ⇒【理由】 ☐ 連携ができる ⇒【理由】 ☐ 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がないため ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地（表面トータルコストの事業費部分） 事業費を削減できないか？（経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 道路整備に際しては、予算規模内で実施しており、削減余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地（表面トータルコストの人件費部分） やり方の工夫（業務プロセスの改善など）や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費と同じく、人員についても必要最小限で実施しているので削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 公共性を第一に道路の整備計画等に基づき進めているので公平・公正であると思われる。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 事業費については、最少の経費で最大の効果を上げるために常に見直す必要がある。
---	--

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2～3年後を目処にした方向性 ☒ 目的再設定 ☐ 行政関与の見直し ☒ 事業のやり方改善による成果向上 ☐ 事業統廃合・連携(関連事業：) ☐ 事業のやり方改善による事業費削減 ☐ 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 ☐ 受益機会の適正化 ☐ 費用負担の適正化 ☐ 廃止・休止			(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ① 要望箇所に工事が必要かどうかを選定する。 ② 工事の優先順位をつけ施工する。 ③ ④																								
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ① 各地区の住民からの要望が多くなっているため、優先順位等の選別が難しいが地元の理解を得て実施をする。 ② ③ ④																								